

・・・+-*・・・**+++++・・・++++---・・・+-****

「年内の実現」を目指す

憲法しんぶん 速報版
発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2024年3月21日(木)
NO. 1461号
本号3頁

「19日行動」100回目 総がかり行動実行委員会など

憲法を生かす政治を取り戻そう

自民党派閥の裏金問題で内閣支持率が過去最低を更新し、岸田政権が窮地に追い込まれるもと、自民党政治を終わらせようと19日、第100回目の「19日行動」が、議員会館前を中心に取組まれました。「裏金徹底追及 大軍拡・改憲反対！」などのプラカードを掲げた1300人は「戦争法は今すぐ廃止」「9条守れ」と声をあげました。

主催は総がかり行動実行委員会、9条改憲NO！全国市民アクションです。「19日行動」は、2015年9月19日に強行成立させられた安保法制＝戦争法の廃止を求めて毎月19日に行われています。

主催者あいさつした総がかり行動実行委の藤本泰成共同代表は、戦争法強行採決から立ち続けているとし「日本政府は過去から何も学んでいない。安倍政権が『戦争する国』に突き進んだ。戦前を繰り返してはいけない」と述べました。



参加した共産党(複数の国会議員)、立憲民主党、社民党の国会議員が参加し、あいさつ。共産党の田村委員長は「国会前に集まり、戦争法廃止、憲法を生かせと声をあげる運動が野党を後押ししている。市民と野党の共闘を再構築して、憲法を壊し、戦争する国家づくりをすすめる自民党政治を終わらせよう」と訴えました。

「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会の野平晋作さんは「最高裁が辺野古『代執行』訴訟で沖縄県の上告を棄却したのは許さない。あらゆる手段を使って新基地建設を止めよう」と呼びかけました。

自民党大会 いとも簡単に「年内改憲めざす」と方針変更

しかし、そう簡単には…

自民党は17日の党大会で採択した令和6年運動方針で、憲法改正に関し「岸田自民党総裁任期中の9月まで」を、いとも簡単に3か月延長して「年内の実現」を目指す考えを打ち出しました。しかし、派閥の政治資金パーティー収入不記載事件で自民が支持を失う中、立憲・共産は抵抗の構えを強めています。連立を組む公明党も慎重姿勢を崩しておらず、改憲を「党是」に掲げる自民の本気度が改めて問われる1年となりそうです。

岸田首相は、「激動する国際社会に対応できるのは誰なのか。自公両党の安定した連立政権以外にはない。憲法観も安全保障観もバラバラの野党に任せるわけには絶対にいかない」と、結束を訴えました。

首相は改憲に意欲を示しましたが、現状は厳しい事態です。昨年の通常国会では3月2日に衆院憲法審査会が開かれましたが、今年は今和6年度予算案が通過しても実現していません。事件

の説明不足を理由に立民が難色を示しているため、自民重鎮は「他の委員会は動いている。政治資金問題は憲法とは別。早く打開策を見いだしたい」と嘆いているとか。

維新の会や国民民主はかねて憲法審開催に向けた自民の努力が不十分だと指摘してきました。維新幹部は「(事件で)脛に傷があるのか知らないが、自民がやるべきことをやらない限り、落ちた支持率は戻らない」と不満を口にしているそうです。

参院憲法審査会における議論の遅れも懸念材料と。自民関係者は「改憲政党に勢いがある衆院憲法審の議論は煮詰まっていますが、参院はスカスカだ」と語っています。参院側で立民は護憲色が濃い辻元清美氏を野党筆頭幹事に据えるなど徹底抗戦の構えです。自民も新たに佐藤正久氏を与党筆頭幹事に起用していますが、事件が直撃した安倍派のメンバーを国会の要職から外した余波で兼務を余儀なくされており、憲法に集中できない可能性が高くなっています。参院自民のベテラン議員は「辻元氏は弱り目の自民の足元を見ている。(状況を変え得る)衆院選が終わらないと憲法は動かない」と述べました。

そして、改憲で公明の後押しを得られる保証もありません。自民党大会に来賓として招かれた山口那津男代表は「先送りできない優先課題を差し置いて憲法に力を注ぐ状況ではない」との立場。自民幹部は参院が主戦場になると指摘した上で、「参院議員で改憲に慎重な山口氏が壁になる」と語っています。

本日 21 日 衆院憲法審査会 幹事懇談会を開催

昨日、山添拓参議院議員に審査会の状況をお聞きしましたら、「明日 21 日。衆院憲法審査会は幹事懇談会を開催するそうです」とのお話でした。ですから、来週 28 日から衆院憲法審査会は動き出すのではないかと思います。

各国会で、最初の審査会では「幹事選出」などを行って終わりますが、28 日はそれだけでなく「議員任期延長改憲」に向けた改憲条文案作成の作業部会の設置が討議されるかもしれません。今日の幹事懇談会の内容について情報が入れば、お伝えします。

このような事態です。今こそ、「議員任期延長改憲」の危険性を多くの人々に急いで知らせましょう。憲法会議の憲法リーフレット「議員任期延長改憲を止めよう」は、昨日までで半月で 5 万 2000 部普及しています。さらに、普及してください。

世論調査 FNN 自民党支持率過去最低 朝日 内閣不支持率 67%

FNN 内閣支持率 23.2% 横ばい 自民支持率微減で 24.1% 過去最低更新

◇岸田内閣を支持するか、支持しないか。(カッコ内は先月調査)

1. 支持する 23.2% (22.4%) 2. 支持しない 71.8% (72.5%)

◇自民党のキックバック不記載議員の政治倫理審査会での説明責任

1. 十分果たした 0.6% 2. ある程度果たした 7.8%

3. あまり果たしていない 30.2% 4. 全く果たしていない 58.5%

◇自民党青年局の近畿ブロック会合での、女性ダンサー懇親会

1. 適切だった 8.4% 2. 不適切だった 86.7%

◇次期戦闘機の共同開発国以外への輸出を条件付きで容認した自公合意について

1. 戦闘機以外でも輸出を認めて良い 12.8% 2. 歯止めをかけた輸出の合意は妥当 38.0%

3. もっと厳しい歯止めをかけるべき 27.7% 4. 輸出を一切認めるべきではない 14.9%

朝日新聞社 3月16、17日 内閣不支持率は67% (同65%)

2012 年末に自民党が政権に復帰して以降で、不支持率は最高となり、支持率も 2 月の 21% に次ぐ最低水準でした。自民党の派閥の政治資金をめぐる裏金問題で、岸田首相のこれまでの対応を評価するか評価しない」81% (同 83%) が「評価する」13% (同 10%) を大きく上回りました。首

相自らが出席を表明するという異例の展開で開かれた政倫審だったが、裏金問題の実態解明とはほど遠い内容に終わり、支持を大きく上向させる効果は薄かったとみられます。自民党の派閥の政治資金をめぐる裏金問題について、関係する派閥幹部の説明について尋ねると、「十分ではない」が90%（前回2月調査は90%）に上り、「十分だ」はわずか3%（同3%）でした。

自民党若手議員らの懇親会で、露出の多い衣装の女性による過激な演出のダンスショーが行われていたことについても尋ねた。「問題だ」は「大いに」51%と「ある程度」29%を合わせて80%で、「問題ではない」は「あまり」15%と「全く」3%を合わせて18%でした。

各地のとくくみ

鳥取 『月例の読書会を開きました』

2月20日（火）午後に月例の読書会を開催、会員5人が参加しました。「月刊憲法運動24年2月号」に掲載された「渡辺 治氏：一橋大学名誉教授・九条の会事務局」の「今、立ち上がる時岸田政権の軍拡に反対し、憲法改悪を阻止しよう」の記事の前半部を読み合わせました。この記事は、昨年12月3日、中央憲法会議が東京で開催した「2023冬の憲法講座」の中で「渡辺 治氏」が講演された内容です。この講演内容の概要をお知らせします。

（講演の内容が詳細に報告されていますが、ここでは省略）

そこで、今日の講演で、2つのことを話したい。1つは、改めて岸田政権の軍拡と改憲を、戦後の憲法と安保の歴史の中で振り返って、これが新たな危険な段階に踏み込んでいるのではないかという点を明らかにしたい。

もう1つは、この政権が進めている軍拡と改憲で、本当に日本とアジアの平和が実現するのか、実現しないどころかむしろ戦争への道を切り開くものではないのか。それに代わる、9条に基づくアジアと日本の平和の道とはどういうものであり、この道に転換するために私たちは何をなすべきかを話したい。

今回は、時間の関係で、渡辺治氏の発言の1つ目の、岸田政権が進める軍拡と改憲への道に至っている今日までの動きのお話の途中のところまでの読みあわせとなりました。

兵庫 各地で雪の降る中、9の日宣伝行動

但馬地域で、いっせい宣伝行動が成功！！

3月9日（土）但馬統一反戦宣伝行動（主催：但馬憲法共同センター）を地域団体・労働組合と共同して但馬3市2町（合計7カ所）で、のべ50名の参加を得て実施しました。

雪の降りしきるなか、「9条破壊許さない!」「ウクライナから撤退を!」「パレスチナとイスラエルは即時停戦」などのプラカードを掲げて、7:30日高・和田山を皮切り八鹿・香住・浜坂・出石でスタンディング行動を行い、16:00からは豊岡駅前では宣伝行動も行いました。

通りがかりに声をかけてくださる方々や自動車の車窓から手を振る若者もあり、改めて宣伝行動の重要性を認識しました。（但馬センターより）

裏金づくり、けしからん！9条変えたらあかん！

憲法9条を守る玉津の会恒例の9の日宣伝は、8人で玉津マルアイ前。「自民党のパー券売り上げによる裏金づくりを止めよ」「金権腐敗の温床、企業団体献金を禁止せよ」などで人々に呼びかけました。「イスラエルによるガザでのジェノサイドを許すな」「岸田政権の軍拡政治反対を」も訴えました。

宣伝直後に通りかかった30代の青年2人。「9条を変えたらあかん。憲法3原則、平和主義、人権、主権在民が大事」と署名に応じ「職場で取ったるわ」と署名用紙を預かってくれました。9条の会ニュースも快諾。署名した御婦人もニュースOK。今日は、署名7筆ニュース会員3人で。超嬉しい。（畦布久隆さんより）